

2017年度事業活動報告(案) 2017年10月1日～2018年9月30日

1. 「越智基金・市民活動支援基金」、「被災者支援基金」、「いぶり基金」、「瀧谷きく遺贈基金」の4基金からNPOへの助成金配分事業を行いました。

1) 越智基金・市民活動支援基金

一般公募により、道内のNPO法人・市民活動団体への助成を実施しました。

応募総数 28 団体 助成決定団体:9 団体 助成総額:55 万円

2) 被災者支援基金

一般公募により、東日本大震災の被災者を支援するNPO法人・市民活動団体への助成を実施しました。

応募総数:6 団体 助成決定団体:6 団体 助成総額: 2,345,258 円

3) 北海道いぶり東部地震及び台風21号北海道内被災地支援基金(いぶり基金)

北海道いぶり東部地震及び台風21号北海道内被災地における支援活動を支えるために基金を立ち上げ、下記の要領で被災地の支援、被災者・避難者を支援する活動支援活動等を行うNPOへの活動支援金の助成を行うことといたしました。

助成決定団体:5 団体 助成総額:25 万円(支払いは10月)

4) 瀧谷きく基金

瀧谷きく氏(遺言執行人瀧谷和隆氏)の意向により、道内で活動をするNPO法人で、女性が活躍している・できる活動、環境教育や職業訓練等を通じて人材育成に従事している団体への助成を行いました。

助成先 NPO法人北海道エコビレッジ推進プロジェクト

事業名 余市の懐かしい未来プロジェクト

事業期間 2018年4月～2019年3月

助成金額 90 万円

2. 個人や団体等からの基金の原資を増やす下記の活動を行いました。

各基金の受取寄付額は以下の通りです。

基金名	金額 [円]	備考
越智基金	0	寄付受付を終了し、市民活動支援基金に移行します
北のNPO基金 【市民活動支援基金】	96,892	
被災者支援基金	25,000	2018年で寄付受付を終了しました
子ども基金	0	2018年に造成
瀧谷きく基金	1,000,000	初の冠基金
西日本支援基金	210,000	
いぶり基金	1,097,260	(参考:2018年12月まで) 総額約380万円の寄付。また、バイナンス社より特別 枠として500万円の寄付をいただきました。
合計	2,429,152	

### 3. 北のNPO基金の活動

北のNPO基金では、■■■■氏を委員長とする選定委員会を設けました。

- 1) ■■■■氏による遺贈基金を造成、北のNPO基金として初めての助成を実施しました。
- 2) 2018年6月に子ども基金を造成。子ども分野の活動をする団体への一般助成を行うこととしました。
- 3) 翌年度に向けて市民社会創造ファンドの助成事業を申請し、事業指定型助成プログラムの開発と評価に関わる事業で採択されました。

### 4. 認定NPO法人北海道NPOファンドとしての活動

1) 2018年度年賀寄付金助成事業「非営利公益活動の集成的成果を拡大するための社会的インパクト評価促進事業」

非営利公益活動の分野で経営資源に乏しい団体が活躍するためには、直接的な協働だけでなく、住民をも巻き込んだ間接的な協働が必要です。本事業はモデル団体に対して、社会的インパクト評価を実施し「コミュニティにとって望ましい変化」が起きる道筋を示し、NPO等の自発的社会的インパクト評価の実施を促し住民参加につなげることを目指します。4団体をモデル団体として、社会的インパクト評価を実施しています。

2) 認定NPO法人セミナー開催

2018年3月15日、北海道NPOサポートセンターとの共催により、現在認定NPO、特例認定NPO法人格をお持ちの団体関係者、および近い将来認定NPO法人格取得を目指す方を対象に、取得後のことに焦点を当てた話題提供と意見交換を行いました。話題提供・認定NPO法人アルテピアッツアびばい・■■■■氏、弁護士・■■■■氏。参加者10名。

3) 被災者支援基金成果報告会

2018年6月6日(水)14:00~15:30、市民活動プラザ星園 特別会議室において、前年度に被災者支援基金助成に採択された5団体による成果報告会を実施しました。

(報告者) 一社) 北海道ブックシェアリング

N) 福島子どもたちを守る会・北海道

任意団体 カタルワ (311から学ぶ会)

任意団体 北の里浜 花のかけはしネットワーク

N) みみをすますプロジェクト

4) 全国コミュニティ財団協会加盟(正会員)

2018年6月に同協会に加盟し、地域に根差した財団・NPO法人の在り方・先進事例や遺贈・寄付や休眠預金活用法などについて学びました。

5) 相談対応弁護士との覚書締結をしました

北のNPO基金への相談対応として、弁護士(■■■■弁護士、■■■■弁護士)と覚書を締結しました。当会への遺贈や寄付に関する法律相談に関して、両弁護士にご相談することになりました。

【2017年度 北海道NPOファンド 助成事業】

※ N)は、特定非営利活動法人  
一社)は、一般社団法人

■ 越智基金・市民活動支援基金

●助成実施：2018年9月 9団体 総額55万円助成

支給対象者	支給金額	助成対象の事業等
N) チャイルドラインほっかいどう	70,000円	越智基金・市民活動支援基金 カード発送費
青少年カウンセリンググループ	60,000円	越智基金・市民活動支援基金 ボランティア交通費
N) エスニコ	60,000円	越智基金・市民活動支援基金 プリンター購入費
N) みんなのポラリス	60,000円	越智基金・市民活動支援基金 講演会等開催費
N) フリースクール札幌自由が丘学園	60,000円	越智基金・市民活動支援基金 調理、体育活動会場費
N) 子どもの未来・にじ色プレイス	60,000円	越智基金・市民活動支援基金 教材費、スタッフ交通費等
N) ジェルメ・まるしえ	60,000円	越智基金・市民活動支援基金 プリンター等購入費
N) 「飛んでけ!車いす」の会	60,000円	越智基金・市民活動支援基金 DVD、記念誌発行費
N) たすけ愛ふくろう清田	60,000円	越智基金・市民活動支援基金 広報、チラシ作製費

■ 被災者支援基金

●助成実施：2018年7月 6団体 総額2,345,258円助成

支給対象者	支給金額	助成対象の事業等
N) みみをすますプロジェクト	390,000円	被災者支援基金助成(東日本大震災関係) 一時保養受入事業
一社) 北海道ブックシェアリング	390,000円	被災者支援基金助成(東日本大震災関係) 避難解除区域内の読書環境等に関する情報提供事業
N) 北海道エコビレッジ推進プロジェクト	390,000円	被災者支援基金助成(東日本大震災関係) 保養合宿プログラム事業
N) 福島の子どもたちを守る会・北海道	390,000円	被災者支援基金助成(東日本大震災関係) 保養受入交通費等
北の里浜 花のかけはしネットワーク	390,000円	被災者支援基金助成(東日本大震災関係) 被災地の海浜植物苗植栽事業

3. 11SAPPORO SYMPO 実行委員会	395,258 円	被災者支援基金助成（東日本大震災関係） 3. 11SAPPORO SYMPO・CINEMA 開催事業
--------------------------	-----------	-------------------------------------------------------

### ■瀧谷きく基金

●助成実施：2018年3月 1団体 総額90万円助成

支給対象者	支給金額	助成対象の事業等
N) 北海道エコビレッジ推進プロジェクト	900,000 円	瀧谷きく基金助成 余市の懐かしい未来プロジェクト事業（女性、環境指定）

（参考）

### ■いぶり基金（第1回2018年10月支払）

支給対象者	支給金額	助成対象の事業等
N) いぶり自然学校	50,000 円	いぶり基金第1回 被災者支援事業（片付け等）
N) ホップ障がい者地域生活支援センター	50,000 円	同上 被災者支援事業（移送支援等）
N) ezorock	50,000 円	同上 被災者支援事業（片付け等）
災害救援ネットワーク北海道	50,000 円	同上 被災者支援事業（炊き出し）
一社) Wellbe Design	50,000 円	同上 被災者支援事業（ボランティアセンター支援等）

認定 NPO 法人北海道 NPO ファンド

2018 年度事業活動報告 2018 年 10 月 1 日～2019 年 9 月 30 日

1.「越智基金・市民活動支援基金」、「いぶり基金」「まちのプロジェクト基金」「コープ 2018 年北海道地震ボランティア応援基金」「米山友愛 RC・風越カップ-北海道応援基金」「平成 30 年 7 月豪雨災害支援基金」の 6 基金から NPO への助成金配分事業を行いました。

1)越智基金・市民活動支援基金

一般公募により、道内の NPO 法人・市民活動団体への助成を実施しました。

応募総数 12 団体 助成決定団体:5 団体 助成総額:50 万円

2) 北海道いぶり東部地震及び台風 21 号北海道内被災地支援基金(いぶり基金)

北海道いぶり東部地震及び台風 21 号北海道内被災地における支援活動を支えるために基金を立ち上げ、下記の要領で被災地の支援、被災者・避難者を支援する活動支援活動等を行う NPO への活動支援金の助成を行うことといたしました。

(一般助成枠)

助成決定団体:14 団体 助成総額:1,800,000 円

(特別助成枠)

助成決定団体 2 団体 助成総額 490,000 円

3)まちのプロジェクト基金

組織診断+クラウドファンディングを特徴にした、組織力向上を意図した新しい助成プログラムです。

助成決定団体 2 団体 助成総額 4,283,711 円

4)コープ 2018 年北海道地震ボランティア応援基金

北海道生協連さまより、胆振東部地震被災地における NPO・ボランティア団体による支援活動に対する助成を目的に造成された冠基金です。助成は、3 年間 900 万円の予定です。

助成決定 13 団体 助成総額 491 万 8 千円

5) 米山友愛 RC・風越カップ-北海道応援基金

東京米山友愛ロータリークラブさまにより、胆振東部地震被災地において子ども・スポーツをキーワードに支援活動する団体のために造成された冠基金です。

助成決定 2 団体 助成総額 18 万円

6) 平成 30 年 7 月豪雨災害支援基金

西日本に大きな被害をもたらした豪雨災害に対する北海道内団体の支援活動を対象

にした基金です。

助成決定 1 団体 10 万円

第 2 回公募には申し込みがなく、基金残額 11 万円は、理事会協議により岡山の「ももたろう基金」に寄付しました。

## 2. 個人や団体等からの基金の原資を増やす下記の活動を行いました。

1)各基金の寄付額は以下の通りです。

基金名	金額 [円]	備考
越智基金	100000	寄付受付を終了し、市民活動支援基金に移行します。※本年は越智氏の親族の方より寄付申し出がありお受けしました。
北のNPO基金 【市民活動支援基金】	4500	
コープ 2018 年 北海道地震ボランティア応援基金	900 万円	北海道生協連様により、胆振東部地震被災地の活動を支援するために造成された冠基金です。助成は 3 年間の予定です。
いぶり基金	6354109 円	胆振東部地震被災地における NPO 等支援活動のために造成されました。ヤフーネット基金登録中。
いぶり基金特別枠	450 万円	バイナンス様の寄付により胆振東部地震被災地の中長期的支援のために造成されました。
匿名希望者さまよりのいぶり東部地震被災地支援のための基金	500 万円	匿名様より、胆振東部地震被災地で活動する団体を指定した冠基金です。
米山友愛 RC・風越カップ-北海道応援基金	18 万円	東京米山友愛ロータリークラブさまにより、胆振東部地震被災地における、子どもを対象とした活動に助成する目的で造成された冠基金です。
まちのプロジェクト基金	4283711 円	2 団体合計。
東日本被災者支援基金	0	運営終了
子ども基金	0	18 年に造成。
瀧谷きく基金	0	運営終了
西日本支援基金	0	運営終了
ハンドくんファンド	0	北の NPO 基金の運営自体を支援していただくために造成された基金です。ヤフーネット基金登録中。

合計	29422320 円	
----	---------------	--

### 3. 北のNPO基金の活動

運営実態に合わせて、北の NPO 基金規約を 2018 年 12 月に変更しました。

2019 年 2 月に、「いぶり基金」をヤフーネット基金に登録し、9 月末までにおよそ 200 万円の寄付を集めました。また 9 月には、北の NPO 基金の運営費に充てられる「ハンドくんファンド」を造成し、同じくヤフーネット基金に登録しました。

### 4. 認定 NPO 法人北海道 NPO ファンドとしての活動

1)2018 年度、2019 年度年賀寄付金助成事業「非営利公益活動の集成的成果を拡大するための社会的インパクト評価促進事業」

非営利公益活動の分野で経営資源に乏しい団体が活躍するためには、直接的な協働だけでなく、住民をも巻き込んだ間接的な協働が必要となる。本事業はモデル団体に対して、社会的インパクト評価を実施し「コミュニティにとって望ましい変化」が起きる道筋を示し、NPO 等の自発的社会的インパクト評価の実施を促し住民参加につなげることを目指します。4 団体をモデル団体として、社会的インパクト評価を実施し、2019 年 3 月に成果報告会を開催。2019 年度も同事業で採択され、継続 2 団体に新たに 3 団体を加え、5 団体に対して評価を実施しています。

2)SIMI(社会的インパクトマネジメントイニシアチブ)運営メンバー、全国コミュニティ財団協会正会員として活動しました。

2019 年 10 月になりましたがSIMIの連携講座を開催しました。社会的インパクト評価や組織評価は、助成事業との関連で語られることが増えてきました。当会としても、引き続き情報の収集や関連イベントの開催を検討します。全国コミュニティ財団協会の活動については、遺贈関連のフォーラムに WEB 参加した以外にはできませんでした。

3)赤い羽根共同募金助成事業を実施しています。

2019 年から 20 年にかけて休眠預金助成が始まることを受け、社会的インパクトに関するセミナーを企画して採択されました。

4)北海道ろうきん社会貢献助成事業を実施しています。

社会的インパクト評価という言葉は、助成事業や金融、そして SDGs との関りにおいて散見されるようになりました。北海道 NPO ファンドとしては、今後も事業評価の普及、啓発、実践を続けます。

#### 5)非営利組織評価センターの評価員養成研修に参加しました

JCNE の評価員養成研修に参加し、実地に組織評価を学ぶ研修に参加しています。この研修に参加するに際しては、北海道 NPO ファンドが JCNE の「ベーシック評価」を受ける必要があり、準備を進めています。



## 2018 年度事業活動計画

## 2019 年度事業活動計画(案) 2019 年 10 月 1 日～2020 年 9 月 30 日

1. 「いぶり基金」「いぶり基金特別枠」「コープ 2018 北海道地震ボランティア応援基金」「越智基金・市民活動支援基金」の助成事業を実施します。また、北の NPO 基金の運営体制を、基金ごとの趣旨に沿って運営できるように、選定委員の体制を見直します。選定委員の方々にはいままでよりも基金運営に関わっていただけるようになります。※北の NPO 基金は、市民活動支援基金(一般助成)、プロジェクト基金(事業指定型寄付助成)、冠基金から構成されています。

2. 第 2 期「まちのプロジェクト基金」を実施します。組織診断から資金調達、事業実施までを支援対象とするプログラムを第 1 期に指摘された課題を踏まえて実施します。地方で必要となるといわれている「多機関連携」を意識した支援を行います。

3. 各種の助成申請を試みます。2 年目となる社会的インパクト評価促進事業を実施中の年賀寄附金助成については 3 年目の採択を目指し申請中です。このほかにも、適宜、助成申請を試みます。

4. エリア(地域)基金(当ファンドの北海道内展開)を検討します。

2018 年度は、6 月に開催された当ファンド運営委員会でも検討しましたが具体化には至りませんでした。北海道の市民活動をめぐる資金循環の実現のためには、札幌拠点の当ファンドだけでは十分とは言えないことから、旭川など道内中核市の NPO 支援センターと連携したエリア基金造成の可能性、実施体制などの検討を行います。

5. 基金の普及・啓発活動

北海道 NPO ファンドおよび北の NPO 基金の活動を一般に周知するため、2017 年から加盟した全国コミュニティ財団協会における研修への参加を検討します。

6. 遺贈・寄付の相談窓口業務開始に向けた調査と準備を行います

今後 NPO にたいする遺贈を考える方が増えるという予測のもと、当法人が専門家ネットワークの窓口として遺贈や寄付の相談にあたるべく準備を進めます。全国コミュニティ財団協会や全国レガシーギフト協会を通じた情報収集を続けます。

7. 北海道 NPO サポートセンター、北海道 NPO バンク、NPO 推進北海道会議との連携を積極的に実施しつつ、各種調査対応、メディアへの掲載等の情報発信を通じて、個人や団体等からの基金の原資を増やす活動を行います。

**1. 「越智基金・市民活動支援基金」、「いぶり基金」「コープ 2018 年北海道地震ボランティア  
応援基金」「宮本英基金」「厚真子ども応援基金」「まちのプロジェクト基金」「クラブメッド  
基金」の 7 基金から NPO への助成金配分事業を行いました。**

1)越智基金・市民活動支援基金

一般公募により、道内の NPO 法人・市民活動団体への助成を実施しました。コロナ禍を踏まえ助成枠を例年より拡大、申請書も更新し、事業継続の意欲を持つ団体に助成しました。  
応募総数 18 団体 助成決定団体:18 団体 助成総額:126 万円(各団体に 7 万円助成)

2) 北海道いぶり東部地震及び台風 21 号北海道内被災地支援基金(いぶり基金)

2020 年以降コロナ感染症の影響により、活動に支障が出るのが懸念され、理事会において日程通りに進まない場合の対処を議論し、延長申請の準備を整えました。

北海道いぶり東部地震及び台風 21 号北海道内被災地における支援活動を支えるために基金を立ち上げ、下記の要領で被災地の支援、被災者・避難者を支援する活動支援活動等を行う NPO への活動支援金の助成を行うことといたしました。

(一般助成枠)

助成決定団体:19 団体 助成総額:4,909,000 円

(特別助成枠)

助成決定団体 2 団体 助成総額 2,000,000 円(うち 1 団体は延長申請をし、2020 年 11 月に完了報告を提出)

3)まちのプロジェクト基金

組織診断+クラウドファンディングを特徴にした、組織力向上を意図した新しい助成プログラムです。2019 年度は第 2 期の公募を実施、2 団体がエントリーしました。コロナ感染症の影響による日程の遅れがあり、助成には至っていません。

参考)第 1 期実績：助成決定団体 2 団体 助成総額 4,283,711 円

4) コープ 2018 年北海道地震ボランティア応援基金

北海道生協連さまより、胆振東部地震被災地における NPO・ボランティア団体による支援活動に対する助成を目的に造成された冠基金です。助成 2 年目となる今年度は、主に被災の大きかった厚真町、安平町、むかわ町の 3 町の団体を対象として助成しました。事務局が中間ヒアリングを実施したところ、1 団体が予定通りに事業を実施できないという回答がありましたが、多くは工夫を重ねてコロナ禍においても事業を遂行されていました。助成は、

3年間 900万円の予定です。

助成決定 8団体 助成総額 300万円

#### 5)宮本英基金

■■■■氏による、北海道内で体験活動を行う団体への助成をする基金です。成団体を指定する助成事業であり公募はしませんでした。

助成 3団体、助成総額 300万円

#### 6) 厚真町子ども応援基金

匿名希望者様により造成された、胆振東部地震被災地である厚真町の子どもを支援する活動に助成する基金です。助成団体を指定する助成事業であり公募はしませんでした。実施団体からは年度ごとに事業計画を出していただき、助成金を拠出します。

2019年度助成額 90万円、助成予定総額 500万円

#### 7) Club Med Tomamu(クラブメッドモムム)基金

2019年9月開催の環境フェス「Green Beats Tomamu Hokkaido」の収益金を活用した、胆振東部地震被災地支援活動団体を指定した総額 1276000円の冠基金です。株式会社クラブメッドさまにより造成されました。

助成団体を指定した基金であり公募は行いませんでした。

助成 4団体 助成予定総額 127万6千円

## 2. 個人や団体等からの基金の原資を増やす下記の活動を行いました。

1) 各基金の寄付額は以下の通りです。

基金名	金額 [円]	備考
越智基金	0	寄付受付を終了し、市民活動支援基金に移行します。
北のNPO基金 【市民活動支援基金】	602200	越智基金の後継と位置付けられる、市民活動向け・使途限定なし・少額助成を意図した基金です。
コープ2018年北海道地震ボランティア応援基金	0	北海道生協連様により、胆振東部地震被災地の活動を支援するために造成された冠基金です。総額 900万円、寄付募集はしません。
いぶり基金	776557 円	胆振東部地震被災地におけるNPO等支援活動のために造成されました。ヤフーネット基金登録中。

いぶり基金特別枠	0	バイナンス様の寄付により胆振東部地震被災地の中長期的支援のために造成されました。総額 500 万円、寄付募集はしません。
厚真町子ども応援基金	0	匿名様より、胆振東部地震被災地で活動する団体を指定した冠基金です。総額 500 万円、寄付募集はしません。
Club Med Tomamu	1276000	「Green Beats Tomamu Hokkaido」の収益金を活用した、胆振東部地震被災地支援活動団体を指定した総額 1276000 円の冠基金です。寄付募集はしません。
宮本英基金	3300000	宮本氏による野外体験活動を行う団体への助成を行う基金。総額 330 万円、寄付募集はしません。
まちのプロジェクト基金	0 円	2021 年以降第 2 期寄付集めの予定
東日本被災者支援基金	0	運営終了
北海道災害復興支援基金	111000	いぶり基金の後継と位置付けられる、平時から災害に備え、支援団体の活動を支える基金。
北海道災害復興支援基金コロナ特別	300000	コロナ起因により影響を受けた市民活動やコロナ感染症対策活動への助成目的の基金。
47 コロナ基金	0	宮城県の財団・さなぶりと全国コミュニティ財団協会によるキャンペーンに参加し、コロナ感染症により変化を迫られたり、変化を志向する団体への助成をするための基金。
ハンドくんファンド	69001	北の NPO 基金の運営自体を支援していただくために造成された基金です。ヤフーネット基金登録中。
合計	6434758 円	

### 3. 北の NPO 基金の活動

専用サイトの運営のほか、北海道災害復興支援基金のサイトを開設しました。昨年から引き続きヤフーネット基金に北海道 NPO ファンドの運営支援をしていただく「ハンド君ファンド」を登録しています。

### 4. 認定 NPO 法人北海道 NPO ファンドとしての活動

#### 1) 休眠預金活用に関わる活動

- ・ 一般財団法人日本民間公益活動連携機構の「新型コロナウイルス対応緊急支援助成」の資金分配団体として「北海道リスタート事業～社会的居場所を失った人に新たなつながりを」を実施。

2020年7月に、休眠預金の民間公益活動への活用を管理する一般財団法人日本民間公益活動連携機構の「新型コロナウイルス対応緊急支援助成」に内定、8月から公募開始しました。北海道 NPO サポートセンター、北海道総合研究調査会との連携事業です。

第1次公募は応募15団体、内定7団体。合計10～12団体を採択する予定です。単年度事業で、事業総額はおよそ6000万円、助成総額は5000万円です。

- ・ 休眠預金助成の2020年度一般枠に申請(10月資金分配団体に内定)  
コープさっぽろ、北海道 NPO サポートセンターとの連携により、総額5000万円程度、北海道内の3団体への助成を内容とした計画を、日本民間公益活動連携機構に申請しました。採択された場合には、2024年初頭までの事業になります。

## **2)2018年度、2019年度、2020年度年賀寄付金助成事業「非営利公益活動の集成的成果を拡大するための社会的インパクト評価促進事業」**

非営利公益活動の分野で経営資源に乏しい団体が活躍するためには、直接的な協働だけでなく、住民をも巻き込んだ間接的な協働が必要となる。本事業はモデル団体に対して、社会的インパクト評価を実施し「コミュニティにとって望ましい変化」が起きる道筋を示し、NPO等の自発的社会的インパクト評価の実施を促し住民参加につなげることを目指します。5団体をモデル団体として、社会的インパクト評価を実施しましたが、コロナ感染症の影響により成果報告会は開催できませんでした。未実施部分については助成金を返還しました。2020年度は、継続4団体に対して評価を実施しています。

## **3) 新型コロナウイルス感染症対策活動団体支援協議会-行政とNPOの連携枠組みに参加しました。**

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に対処するため、行政とまちづくり活動団体が連携し、一体となって助成の方向性を協議し、喫緊のニーズを踏まえた支援を迅速に進めることを目的に、2020年5月20日に設立。札幌市、札幌市市民活動サポートセンター、札幌チャレンジド、北海道 NPO サポートセンターとともに運営メンバーとして参加。札幌市を対象としたさぽーとほっと基金助成の周知や広報などに関わったほか、北海道災害復興支援基金にコロナ特別枠を設け、北海道内の市民団体のコロナ起因により影響を受けた活

動や、対策活動への助成を目指し寄付募集を実施しました。

#### **4) SIMI(社会的インパクトマネジメントイニシアチブ)運営メンバー、全国コミュニティ財団協会正会員、全国レガシーギフト協会正会員として活動しました。**

##### ・SIMI(社会的インパクトマネジメントイニシアチブ)

2019年10月にSIMIの連携講座を開催しました。社会的インパクト評価や組織評価は、助成事業やSDGsとの関連で語られることが増えてきました。当会としても、引き続き情報の収集や関連イベントの開催を検討します。また2020年7月には、SIMIによるイベント「緊急時の社会的インパクト」の運営に当会スタッフが参加しました。

##### ・全国コミュニティ財団協会

47 コロナ基金(さなぶり運営、全国コミュニティ財団協会協力)への参加が、主な活動でした。47 コロナ基金は全国の地域に密着したコミュニティ財団による連携キャンペーンであり、各々の財団の規模の小ささを補う可能性があります。同協会は、当会と同様休眠預金資金分配団体にも選ばれており、この点でも、知識の共有や活動面での連携などが生じる可能性があります。コロナ感染症の影響により、研修やブロック会議が残念ながら実施されませんでしたので再開を期待したいです。年会費5万円。

##### ・全国レガシーギフト協会

7月に正会員として加盟が認められ、当会として遺贈寄付の相談窓口業務を開始しました。年会費10万円。

#### **5) いぞう寄付の相談窓口業務**

全国レガシーギフト協会に加盟したことにより、7月から遺贈寄付の相談窓口を開始しました。相談自体は年度内にはなく、10月に1件ありました。専用サイトを開設し広報をしています。

また、19年度は、直接相談窓口を経由したわけではありませんでしたが、1件当会が遺贈寄付の受贈者と指定されました。金額や時期は未定です。

超高齢化社会を迎え、独り身の方や高齢の方が社会や故郷に有意義に財産を活用してほしいという相談が増えていくことが予想されます。

#### **6)赤い羽根共同募金助成事業として、千歳市との共催により「市民協働フォーラム」を開催しました。**

2019 年から 20 年にかけて休眠預金助成が始まることを受け、社会的インパクトに関するセミナーを企画して採択されました。2019 年 10 月 26 日に、千歳市との共催で「市民協働フォーラム」を開催、第 2 部の事業評価について、赤い羽根共同募金助成事業としました。講師には、一般財団法人 CSO ネットワークの今田克司さんと千葉直紀さんをお招きしました。事業評価、社会的インパクト評価というテーマで、地方都市でフォーラムを開催するのは初めてでしたが、千歳市の尽力により、およそ 30 の方が参加し、「また事業評価のセミナー」を開催してほしいという声もきかれました。

#### **7)北海道ろうきん社会貢献助成事業として、社会的インパクト評価セミナーを開催しました。**

2019 年 10 月 27 日、千歳市との共催フォーラムの翌日に、再び一般財団法人 CSO ネットワークの■■■■さんと■■■■さんを講師に迎えてセミナーを開催しました(参加 35 人)。午前中は実習時間として、いま社会的インパクト評価に取り組む 4 団体がロジックモデル作成と指標の設定に取り組みました。旭川 NPO サポートセンター、NPO 運営サポートあの屋、北海道 NPO サポートセンターからそれぞれ 1 人ずつメンターとして実習をサポートしました。

午後は、■■■■さんの講義と、支援者、事業者、中間支援団体それぞれの立場から、北海道の NPO 事業評価についてパネルディスカッションを行いました。

社会的インパクト評価という言葉は、助成事業や金融、そして SDGs との関りにおいて散見されるようになりました。北海道 NPO ファンドとしては、今後も事業評価の普及、啓発、実践を続けます。

#### **8) 非営利組織評価センター(JCNE)共催「非営利組織のための第三者組織評価のすすめ」を開催しました。**

2019 年 10 月 16 日、非営利組織評価センターの■■■■さんを講師にお迎えしました。

社会的インパクト評価が事業評価と呼ばれるのに対して、これは組織評価と呼ばれています。「NPO 等が継続的に活動するために組織運営の状態について、団体からの提出書類に基づき、評価を行うもの」と言われています。参加は 10 団体でした。

評価の結果は JCNE のホームページに掲載され、資金調達に好影響をもたらすものと期待されています。JCNE の組織評価は、前述の休眠預金助成はじめいくつかの助成団体において、申請書におけるチェック項目となっています。今は任意項目にとどまっていますが、こうした動きが広まったときに、北海道の NPO が戸惑うことのないよう、当会としてもこの制度への協力と同時に情報収集と研究を続けていきます。

## 9)非営利組織評価センターのベーシック評価を受けました

基本的なガバナンスについて 23 項目によりチェックするベーシック評価を受け、すべての基準を満たしていると評価されました。

2017年度 決算報告（案）及び監査報告

特定非営利活動に係る事業活動計算書(案)

2017年10月1日から2018年9月30日まで

特定非営利活動法人 北海道 NPO ファンド

単位:円

科目	決算
I 経常収益	
受取寄付金	2,429,152
事業収益	0
受取助成金	200,580
雑収益	20,025
経常収益計	2,649,757
II 経常費用	
1.事業費	
(1)人件費	
人件費計	0
(2)その他経費	
支払助成金	3,795,258
謝金	0
旅費交通費	17,580
通信費	0
業務委託費	183,000
支払手数料	39,805
その他経費計	4,035,643
事業費合計	4,035,643
2.管理費	
(1)人件費	
人件費計	0
(2)その他経費	
会議費	1,800
通信費	30,844
支払手数料	432
諸会費	50,000
業務委託費	240,000
その他経費計	323,076
管理費計	323,076
経常費用計	4,358,719
当期正味財産増減額	△ 1,708,962
前期繰越正味財産額	7,970,542
次期繰越正味財産額	6,261,580

その他の事業に係る活動計算書該当なし

特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表(案)

単位:円

特定非営利活動法人北海道 NPO ファンド

2018年9月30日現在

資産の部			負債及び正味財産の部		
<b>I 資産の部</b>			<b>II 負債の部</b>		
<b>流動資産</b>			<b>流動負債</b>		
現金・預金	910,620		未払金	308,520	
未収金	929,260		預り金	0	
前払費用	29,640		前受金	299,420	
流動資産合計		1,869,520	流動負債合計		607,940
<b>固定資産</b>			<b>固定負債</b>		
出資金	5,000,000		固定負債合計		0
			負債合計		607,940
			<b>III 正味財産の部</b>		
			前期繰越正味財産	7,970,542	
			当期正味財産増減額	△ 1,708,962	
固定資産合計		5,000,000	正味財産合計		6,261,580
資産合計		6,869,520	負債及び正味財産合計		6,869,520

その他の事業に係る貸借対照表該当なし

## 財務諸表の注記

### 1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO 法人会計基準(2010 年 7 月 20 日 2017 年 12 月 12 日最終改正 NPO 法人会計基準協議会)によっています。

### 2. 事業費の内訳

事業別損益の状況は以下の通りです。

科目	〈本部〉	〈越智基金〉	〈被災者支援基金〉	〈北のNPO基金〉			〈いぶり基金〉	〈西日本支援基金〉	〈年賀寄附金助成金〉	〈合計〉
				〈市民活動支援基金〉	〈こども基金〉	〈瀧谷キク基金〉				
【経常収益】										
受取寄付金			25,000	96,892		1,000,000	1,097,260	210,000		2,429,152
事業収益										0
受取助成金									200,580	200,580
雑収益	20025									20,025
<b>経常収益計</b>	<b>20,025</b>	<b>0</b>	<b>25,000</b>	<b>96,892</b>	<b>0</b>	<b>1,000,000</b>	<b>1,097,260</b>	<b>210,000</b>	<b>200,580</b>	<b>2,649,757</b>
【経常費用】										
1.事業費										
(1)人件費										
人件費計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2)その他経費										
支払助成金		550,000	2,345,258			900,000				3,795,258
謝金										0
旅費交通費								17,580		17,580
通信費										0
業務委託費									183,000	183,000
支払手数料				39,805						39,805
その他経費計	0	550,000	2,345,258	39,805	0	900,000	0	0	200,580	4,035,643
<b>事業費合計</b>	<b>0</b>	<b>550,000</b>	<b>2,345,258</b>	<b>39,805</b>	<b>0</b>	<b>900,000</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>200,580</b>	<b>4,035,643</b>
2.管理費										
(1)人件費										
人件費計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2)その他経費										
会議費	1,800									1,800
通信費	30,844									30,844
支払手数料	432									432
諸会費	50,000									50,000
業務委託費	240,000									240,000
その他経費計	323,076	0	0	0	0	0	0	0	0	323,076
<b>管理費計</b>	<b>323,076</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>323,076</b>
<b>経常費用計</b>	<b>323,076</b>	<b>550,000</b>	<b>2,345,258</b>	<b>39,805</b>	<b>0</b>	<b>900,000</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>200,580</b>	<b>4,358,719</b>
経理区分振替額	213,862	△ 108,084	11	△ 5,789	0	△ 100,000	0	0	0	0
<b>当期正味財産増減額</b>	<b>△ 89,189</b>	<b>△ 658,084</b>	<b>△ 2,320,247</b>	<b>51,298</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>1,097,260</b>	<b>210,000</b>	<b>0</b>	<b>△ 1,708,962</b>

### 3. 用途等が制約された寄付等の内訳

用途等が制約された寄付等の内訳は以下の通りです。当法人の正味財産は 6,261,580 円ですが、そのうち用途が特定されている正味財産は下記の越智基金、被災者支援基金、北の NPO 基金、台風救済支援基金で使用される財産です。したがって、用途等が制約されていない正味財産は、156,917 円です。

内容	前期繰越額	当期受入額	当期減少額	次期繰越額
越智基金	5,404,189	0	658,084	4,746,105
被災者支援基金	2,320,247	25,000	2,345,247	0
北のNPO基金	0	1,096,892	1,045,594	51,298
いぶり基金	0	1,097,260	0	1,097,260
西日本基金	0	210,000	0	210,000
年賀寄附金	0	200,580	200,580	0
合計	7,724,436	2,629,732	4,249,505	6,104,663

### 4. 固定資産の増減内訳

固定資産の内訳は以下の通りです。

内容	前期繰越額	当期増加額	当期減少額	次期繰越額
出資金	5,000,000	0	0	5,000,000
合計	5,000,000	0	0	5,000,000

特定非営利活動に係る事業会計財産目録(案)

単位:円

特定非営利活動法人北海道 NPO ファンド

2018年9月30日現在

科目・摘要		金額		
<b>I 資産の部</b>				
<b>1 流動資産</b>				
現 金		42,664		
小 口 現 金		0		
普 通 預 金	北海道労働金庫 本店	222,488		
	北海道労働金庫 本店	69,870		
	北洋銀行 北七条支店	157,081		
	北洋銀行 北七条支店	0		
郵 便 振 替	ゆうちょ銀行	418,517		
未 収 金	いぶり基金寄附金	929,260		
前 払 費 用	助成事業経費	29,640		
	流動資産合計		1,869,520	
<b>2 固定資産</b>				
出 資 金	NPOバンク事業組合	5,000,000		
	固定資産合計		5,000,000	
	資産合計			6,869,520
<b>II 負債の部</b>				
<b>1 流動負債</b>				
未 払 金	助成事業経費	308,520		
預 り 金		0		
前 受 金		299,420		
	流動負債合計		607,940	
<b>2 固定負債</b>				
	固定負債合計		0	
	負債合計			607,940
	正味財産			6,261,580

その他の事業に係る財産目録該当なし

**監査報告**

監査を実施した結果、財務諸表は適正に処理されていることを認めます。

(監査日/2018年12月8日)

監事 瀧谷 和隆

監事 小沼 千佳子

# 貸借対照表

特定非営利活動法人北海道NPOファンド

2019年 9月30日 現在

		《資産の部》	
<b>【流動資産】</b>			
(現金・預金)			
現金	29,938		
普通預金	22,870,103		
現金・預金計	22,900,041		
(売上債権)			
未収金	120,200		
売上債権計	120,200		
流動資産合計		23,020,241	
<b>【固定資産】</b>			
(投資その他の資産)			
出資金	4,000,000		
投資その他の資産計	4,000,000		
固定資産合計		4,000,000	
資産合計			27,020,241
		《負債の部》	
<b>【流動負債】</b>			
未払金	825,912		
前受金	1,158,311		
仮受金	200		
流動負債合計		1,984,423	
負債合計			1,984,423
		《正味財産の部》	
前期繰越正味財産		6,261,580	
当期正味財産増減額		18,774,238	
正味財産合計			25,035,818
負債及び正味財産合計			27,020,241

# 財 産 目 録

特定非営利活動法人北海道NPOファンド

2019年 9月30日 現在

## 《資産の部》

### 【流動資産】

(現金・預金)

現 金	29,938
普通 預金	22,870,103
北海道労働金庫 本店	(13,600,212)
北洋銀行 北七条支店	(4,033,204)
北海道労働金庫 本店	(4,082,023)
郵便振替 ゆうちょ銀行	(1,154,664)
現金・預金 計	<u>22,900,041</u>

(売上債権)

未 収 金	120,200
クレジット寄附金	(120,200)
売上債権 計	<u>120,200</u>

流動資産合計

23,020,241

### 【固定資産】

(投資その他の資産)

出 資 金 NPOバンク事業組合	<u>4,000,000</u>
投資その他の資産 計	<u>4,000,000</u>

固定資産合計

4,000,000

資産合計

27,020,241

## 《負債の部》

### 【流動負債】

未 払 金 助成事業経費	825,912
前 受 金 前受助成金	1,158,311
仮 受 金	200
流動負債合計	<u>1,984,423</u>

流動負債合計

1,984,423

負債合計

1,984,423

正味財産

25,035,818

# 活 動 計 算 書

特定非営利活動法人北海道NPOファンド

自 2018年10月 1日 至 2019年 9月30日

<b>【経常収益】</b>			
<b>【受取寄付金】</b>			
受取寄付金		30,156,789	
<b>【受取助成金等】</b>			
受取助成金		2,056,826	
<b>【事業収益】</b>			
基金管理運営収益	1,745,000		
研修事業収益	136,000	1,881,000	
<b>【その他収益】</b>			
受取利息	118		
雑収益	5,555	5,673	
<b>経常収益計</b>			34,100,288
<b>【経常費用】</b>			
<b>【事業費】</b>			
(人件費)			
人件費計	0		
(その他経費)			
業務委託費	1,247,912		
諸謝金	650,000		
印刷製本費	105,246		
広報費	162,500		
会議費	41,225		
会場費	212,976		
旅費交通費	344,632		
通信運搬費	46,831		
消耗品費	356		
租税公課	800		
支払手数料	153,705		
支払助成金	12,021,711		
支払寄付金	110,000		
<b>その他経費計</b>	15,097,894		
<b>事業費計</b>		15,097,894	
<b>【管理費】</b>			
(人件費)			
人件費計	0		
(その他経費)			
旅費交通費	5,260		
通信運搬費	51,276		
賃借料	120,000		
諸会費	50,000		
支払手数料	1,620		
<b>その他経費計</b>	228,156		
<b>管理費計</b>		228,156	
<b>経常費用計</b>			15,326,050
<b>当期経常増減額</b>			18,774,238
<b>【経常外収益】</b>			
<b>経常外収益計</b>			0
<b>【経常外費用】</b>			
<b>経常外費用計</b>			0
<b>税引前当期正味財産増減額</b>			18,774,238
<b>当期正味財産増減額</b>			18,774,238
<b>前期繰越正味財産額</b>			6,261,580
<b>次期繰越正味財産額</b>			25,035,818

## 財務諸表の注記

特定非営利活動法人北海道NPOファンド

2019年 9月30日 現在

### 【重要な会計方針】

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

### 【事業費の内訳】

事業別損益の状況は以下の通りです。

科目	<本部>	<越智基金>	<西日本基金>	<いぶり基金>	<コープ基金>	<米山友愛基金>	<市民活動支援基金>	<こども基金>	<プロジェクト基金>	<合計>
<b>【経常収益】</b>										
受取寄付金	238,000	100,000		15,854,109	9,000,000	200,000	5,000		4,759,680	30,156,789
事業収益	136,000				1,745,000					1,881,000
受取助成金	2,056,826									2,056,826
雑収益	5,673									5,673
経常収益計	2,436,499	100,000	0	15,854,109	10,745,000	200,000	5,000	0	4,759,680	34,100,288
<b>【経常費用】</b>										
1. 事業費										
(1) 人件費										
人件費計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) その他経費										
業務委託費	1,247,912									1,247,912
諸謝金	530,000				120,000					650,000
印刷製本費	53,491				9,482			42,273		105,246
広報費	94,000				50,000			18,500		162,500
会議費	32,530				7,234			1,461		41,225
会場費	212,976									212,976
旅費交通費	335,604				3,528			5,500		344,632
通信運搬費	41,917				3,466			1,448		46,831
消耗品費	356									356
租税公課	800									800
支払手数料	142,293				10,188	432		792		153,705
支払助成金			100,000	2,540,000	4,918,000	180,000		4,283,711		12,021,711
支払寄付金			110,000							110,000
その他経費計	2,691,879	0	210,000	2,540,000	5,121,898	180,432	0	0	4,353,685	15,097,894
事業費計	2,691,879	0	210,000	2,540,000	5,121,898	180,432	0	0	4,353,685	15,097,894
2. 管理費										
(1) 人件費										
人件費計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) その他経費										
旅費交通費	5,260									5,260
通信運搬費	51,276									51,276
賃借料	120,000									120,000
諸会費	50,000									50,000
支払手数料	1,620									1,620
その他経費計	228,156	0	0	0	0	0	0	0	0	228,156
管理費計	228,156	0	0	0	0	0	0	0	0	228,156
経常費用計	2,920,035	0	210,000	2,540,000	5,121,898	180,432	0	0	4,353,685	15,326,050
経理区分振替額	2,467,165	0	0	△ 500,000	△ 1,541,102	△ 19,568	△ 500	0	△ 405,995	0
当期正味財産増減額	1,983,629	100,000	△ 210,000	12,814,109	4,082,000	0	4,500	0	0	18,774,238

### 【使途等が制約された寄付等の内訳】

使途等が制約された寄付等の内訳は以下の通りです。当法人の正味財産は25,035,818円ですが、そのうち使途が特定されている正味財産は下記の基金で使用される財産です。したがって、使途等が制約されていない正味財産は、2,191,944円です。

内容	前期繰越額	当期受入額	当期減少額	次期繰越額
越智基金	4,746,105	100,000	0	4,846,105
西日本基金	210,000	0	210,000	0
いぶり基金	1,097,160	15,854,109	3,040,000	13,911,269
コープ基金	0	9,000,000	4,918,000	4,082,000
米山友愛基金	0	180,000	180,000	0
市民活動支援基金	0	4,500	0	4,500
プロジェクト基金	0	4,283,711	4,283,711	0
合計	6,053,265	29,422,320	12,631,711	22,843,874

### 【固定資産の増減内訳】

固定資産の内訳は以下の通りです。

科目	前期繰越額	当期増加額	当期減少額	次期繰越額
出資金	5,000,000	0	1,000,000	4,000,000
合計	5,000,000	0	1,000,000	4,000,000



# 貸借対照表

特定非営利活動法人北海道NPOファンド

2020年 9月30日 現在

		《資産の部》	
<b>【流動資産】</b>			
(現金・預金)			
現金		14,459	
普通預金		13,526,458	
現金・預金計		<u>13,540,917</u>	
(売上債権)			
未収金		1,625,300	
売上債権計		<u>1,625,300</u>	
流動資産合計			15,166,217
<b>【固定資産】</b>			
(投資その他の資産)			
出資金		4,000,000	
投資その他の資産計		<u>4,000,000</u>	
固定資産合計			<u>4,000,000</u>
資産合計			<u><u>19,166,217</u></u>
		《負債の部》	
<b>【流動負債】</b>			
未払金		1,425,000	
前受金		553,730	
流動負債合計		<u>1,978,730</u>	
負債合計			1,978,730
		《正味財産の部》	
前期繰越正味財産		25,035,818	
当期正味財産増減額		<u>△ 7,867,819</u>	
正味財産合計			<u>17,167,999</u>
負債及び正味財産合計			<u><u>19,146,729</u></u>

# 財 産 目 録

特定非営利活動法人北海道NPOファンド

2020年 9月30日 現在

## 《資産の部》

### 【流動資産】

(現金・預金)

現 金	14,459
普通 預金	13,526,458
北海道労働金庫 本店	(2,319,250)
北洋銀行 北七条支店	(6,105,848)
北海道労働金庫 本店	(4,082,058)
郵便振替 ゆうちょ銀行	(1,019,302)
現金・預金 計	<u>13,540,917</u>

(売上債権)

未 収 金	1,625,300
寄付金 (クレジット決済)	(200,300)
一財) 日本民間公益活動連携機構 (JANPIA) (休眠預金助成事業)	(1,425,000)
売上債権 計	<u>1,625,300</u>

流動資産合計

15,166,217

### 【固定資産】

(投資その他の資産)

出 資 金 NPOバンク事業組合	4,000,000
投資その他の資産 計	<u>4,000,000</u>

固定資産合計

4,000,000

資産合計

19,166,217

## 《負債の部》

### 【流動負債】

未 払 金 休眠預金助成事業経費	1,425,000
その他経費	19,488
前 受 金 市民社会創造ファンド	553,730
流動負債合計	<u>1,998,218</u>

負債合計

1,998,218

1,998,218

正味財産

17,167,999

# 活 動 計 算 書

特定非営利活動法人北海道NPOファンド 自 2019年10月 1日 至 2020年 9月30日

<b>【経常収益】</b>		
<b>【受取寄付金】</b>		
受取寄付金	6,434,778	
<b>【受取助成金等】</b>		
受取助成金	3,318,141	
<b>【事業収益】</b>		
事業収益	137,000	137,000
<b>【その他収益】</b>		
受取 利息	170	
雑 収 益	0	170
経常収益 計		9,890,089
<b>【経常費用】</b>		
<b>【事業費】</b>		
(人件費)		
人件費計	342,000	
(その他経費)		
業務委託費	1,372,160	
諸 謝 金	669,685	
印刷製本費	26,228	
広 報 費	32,569	
会 場 費	25,442	
旅費交通費	282,590	
通信運搬費	109,038	
賃 借 料	63,000	
支払手数料	73,490	
支払助成金	14,499,000	
その他経費計	17,153,202	
事業費 計		17,495,202
<b>【管理費】</b>		
(人件費)		
人件費計	0	
(その他経費)		
旅費交通費	1,030	
通信運搬費	31,317	
消耗品 費	2,419	
賃 借 料	120,000	
諸 会 費	100,000	
租税 公課	3,450	
支払手数料	4,490	
その他経費計	262,706	
管理費 計		262,706
経常費用 計		17,757,908
当期正味財産増減額		△ 7,867,819
前期繰越正味財産額		25,035,818
次期繰越正味財産額		17,167,999

財務諸表の注記

特定非営利活動法人北海道NPOファンド

2020年 9月30日 現在

【重要な会計方針】  
財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

【事業別損益の内訳】  
事業別損益の状況は以下の通りです。

	運営(ハンドクン基金)	越智基金	市民活動支援基金	コープ 2018年北海道地震ボランティア応援基金	いぶり基金	いぶり基金特別枠	厚真町子ども応援基金	子ども基金	まちのプロジェクト基金	宮本英基金	クラブメッドママ
【経常収益】											
受取寄付金	69,001	0	602,200	0	776,577	0	0	0	0	3,300,000	1,276,000
受取助成金	1,893,141	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事業収益	137,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取利息	170	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常収益計	2,099,312	0	602,200	0	776,577	0	0	0	0	3,300,000	1,276,000
【経常費用】											
【事業費】											
(人件費)											
人件費計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(その他経費)											
業務委託費	452,160	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
諸謝金	569,685	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
印刷製本費	26,228	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
広報費	32,569	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会場費	25,442	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
旅費交通費	282,590	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
通信運搬費	109,038	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
賃借料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支払手数料	73,490	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支払助成金	0	990,000	0	3,000,000	4,609,000	2,000,000	900,000	0	0	3,000,000	0
その他経費計	1,571,202	990,000	0	3,000,000	4,609,000	2,000,000	900,000	0	0	3,000,000	0
事業費計	1,571,202	990,000	0	3,000,000	4,609,000	2,000,000	900,000	0	0	3,000,000	0
【管理費】											
旅費交通費	1,030	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
通信運搬費	31,317	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
消耗品費	2,419	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
賃借料	120,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
諸会費	100,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
租税公課	3,450	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支払手数料	4,490	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
管理費計	262,706	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常費用計	1,833,908	990,000	0	3,000,000	4,609,000	2,000,000	900,000	0	0	3,000,000	0
経理区分振替額	520,920	0	-60,220	8,000	0	0	0	0	0	-300,000	-127,600
当期正味財産増減	786,324	-990,000	541,980	-2,992,000	-3,832,423	-2,000,000	-900,000	0	0	0	1,148,400
前期繰越正味財産	2,191,944	4,846,105	4,500	4,082,000	4,901,269	4,010,000	5,000,000	0	0	0	0
次期繰越正味財産	2,978,268	3,856,105	546,480	1,090,000	1,068,846	2,010,000	4,100,000	0	0	0	1,148,400

※コープ 2018年北海道地震ボランティア応援基金につきましては、前年度において運営経費から拠出しなければならぬものが含まれておりましたので、今年度振替を起こしていません。

北海道災害復興支援基金	北海道災害復興支援基金コロナ特別枠	北海道災害復興支援基金47コロナ基金	休眠預金コロナ特別	合計
111,000	300,000	0	0	6,434,778
0	0	0	1,425,000	3,318,141
0	0	0	0	137,000
0	0	0	0	170
111,000	300,000	0	1,425,000	9,890,089
0	0	0	342,000	342,000
0	0	0	920,000	1,372,160
0	0	0	100,000	669,685
0	0	0	0	26,228
0	0	0	0	32,569
0	0	0	0	25,442
0	0	0	0	282,590
0	0	0	0	109,038
0	0	0	63,000	63,000
0	0	0	0	73,490
0	0	0	0	14,499,000
0	0	0	1,083,000	17,153,202
0	0	0	1,425,000	17,495,202
0	0	0	0	1,030
0	0	0	0	31,317
0	0	0	0	2,419
0	0	0	0	120,000
0	0	0	0	100,000
0	0	0	0	3,450
0	0	0	0	4,490
0	0	0	0	262,706
0	0	0	1,425,000	17,757,908
-11,100	-30,000	0	0	0
99,900	270,000	0	0	-7,867,819
0	0	0	0	25,035,818
99,900	270,000	0	0	17,167,999

【使途等が制約された寄付等の内訳】  
使途等が制約された寄付等の内訳は以下の通りです。当法人の正味財産は17,167,999円ですが、そのうち使途が特定されている正味財産は下記の基金で使用される財産です。したがって、使途等が制約されていない正味財産は、2,978,268円です。

内容	前期繰越額	当期受入額	当期減少額	次期繰越額
越智基金	4,846,105	0	990,000	3,856,105
市民活動支援基金	4,500	602,200	60,220	546,480
コープ 2018年北海道地震ボランティア応援基金	4,082,000	0	2,992,000	1,090,000
いぶり基金	4,901,269	776,577	4,609,000	1,068,846
いぶり基金特別枠	4,010,000	0	2,000,000	2,010,000
厚真町子ども応援基金	5,000,000	0	900,000	4,100,000
子ども基金	0	0	0	0
まちのプロジェクト基金	0	0	0	0
宮本英基金	0	3,300,000	3,300,000	0
クラブメッドママ	0	1,276,000	127,600	1,148,400
北海道災害復興支援基金	0	111,000	11,100	99,900
北海道災害復興支援基金コロナ特別枠	0	300,000	30,000	270,000
北海道災害復興支援基金47コロナ基金	0	0	0	0
休眠預金コロナ特別	0	1,425,000	1,425,000	0
合計	22,843,874	7,790,777	16,444,920	14,189,731

【固定資産の増減内訳】  
固定資産の内訳は以下の通りです。

科目	前期繰越額	当期増加額	当期減少額	次期繰越額
出資金	4,000,000	0	0	4,000,000
合計	4,000,000	0	0	4,000,000

**活動予算書(案)**

2020年10月1日から2021年9月30日まで

特定非営利活動法人 北海道NPOファンド

単位:円

科目	前年度決算	予算	備考	
<b>I 経常収益</b>				
受取寄付金	6,434,778	4,000,000	災害復興支援基金 200、まちプロ150、市 民活動支援基金50	
事業収益	137,000	100,000		
受取助成金	3,318,141	71,416,000		
受取利息・その他収入	170	200		
<b>経常収益計</b>	<b>9,890,089</b>	<b>75,516,200</b>		
<b>II 経常費用</b>				
<b>1.事業費</b>				
越智基金	990,000	1,270,000	基金残額 特別枠を含めた額	
市民活動支援基金	0	0		
コープボランティア基金	3,000,000	1,090,000		
いぶり基金	7,509,000	4,200,000		
宮本英基金	3,000,000	0		
クラブメッドトマム	0	0		
北海道災害復興支援基金	0	2,000,000		
休眠預金助成事業(緊急枠)	1,425,000	60,252,000		
休眠預金助成事業(通常枠)		10,164,000		
その他事業経費	1,571,202	1,200,000		
<b>事業費合計</b>	<b>17,495,202</b>	<b>80,176,000</b>		
<b>2.管理費</b>				
旅費交通費	1,030	40,000	北海道NPOサポートセ ンターへ レガシーギフト協会10 万円、コミュニティ財団 協会5万円	
通信運搬費	31,317	40,000		
消耗品 費	2,419	3,000		
賃 借 料	120,000	0		
諸 会 費	100,000	150,000		
租税 公課	3,450	10,000		
支払手数料	4,490	5,000		
管理費計	262,706	248,000		
<b>経常費用計</b>	<b>17,757,908</b>	<b>80,424,000</b>		
当期正味財産増減額	△ 7,867,819	△ 4,907,800		
前期繰越正味財産額	25,035,818	17,167,999		
次期繰越正味財産額	17,167,999	12,260,199		

その他の事業会計 実施予定なし